

杵築市デジタル田園都市構想総合戦略(案)に係るパブリックコメント募集結果について

「杵築市デジタル田園都市構想総合戦略」の策定にあたり、パブリックコメントを実施しましたので、いただいた意見に対し、次のとおり本市の考え方を公表します。今回、ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

1. 募集期間 令和7年1月6日(月)から令和7年2月5日(水)まで(31日間)
2. 募集結果 12件(2人)
3. 意見と回答

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>「01 農林水産業の振興」&gt;実施概要 の中で、「1.多様な担い手の確保」とあります。研修制度や受入体制の整備も大切ですが、ターゲットとなる人に情報が届き、かつその情報が魅力的に見えなければ意味がありません。パブリックな情報発信と共に、体験者の口コミや成功事例などリアルな情報発信があると良いと思いました。デジタルが活用できる範囲だと思います。(農林水産業に限らず、杵築市の会社の仕事の様子を「ど〜んとテレビ」で情報発信したらどうでしょう？杵築市に住む子供や現役世代に魅力が伝われば杵築の仕事に興味を持ってもらえるかも)</p>	<p>「09 戦略的な情報発信」の中で、「2職員の広報スキル向上と情報発信体制の整備」及び「4市の充実した施策情報の発信」の取組を設定しております。この中で、ご意見をいただきました情報発信の内容を含んだ形で記載しております。いただきましたご意見を参考に、より一層の情報発信の強化を図ってまいります。</p>
2	<p>「04 企業誘致の推進」 企業の誘致だけではなく、もっと小規模なフリーランスや士業の誘致も良いかもしれません。例えば、会計士、デザイナー、動画編集者、プログラマー、イラストレーター、アニメーターなどです。プログラマーを除けば女性比率も高い印象があり、さらに若年層にとって魅力的な仕事に映るのではないのでしょうか。</p> <p>杵築市に住みながらでも魅力的な仕事ができることのアピールになるかもしれません。クリエイティブな職種の方は、デジタルを活用した情報発信が得意な傾向があり、SNSのフォロワー数も多いことが期待されます。市の事業に携わってもらえれば、魅力的な街づくりとその情報発信への大きな力になる可能性があります。</p>	<p>「04 企業誘致の推進」の中で、「1企業誘致活動の推進」の取組を設定しております。この中に、製造業のみならず、多様な業種を視野に入れた積極的な企業訪問や情報発信による企業誘致活動を推進すると記載しており、いただきましたご意見の内容を含んだ形で記載させていただいております。いただきましたご意見は、今後の杵築市にとり非常に有効な内容と考えられますので、関係部署へ共有させていただきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
3	<p>「06 観光事業の推進」については、城下町を中心とした施策ばかりをお考えのようですが、それだけで良いのでしょうか？</p> <p>杵築市は道が狭く駐車場も少ないので、受け入れにも限界があるはずですが、宿泊場所を分散させるような設計にした方が良いのではないですか？</p> <p>例えば里山体験は大田や山香、海岸であれば奈多海岸や住吉浜、グランピングやキャンプなどの選択肢もあります。</p> <p>「観光」にもいろいろあり、干潟を見たことがない方であれば、干潟の満ち引きをノンビリ眺めるだけでも楽しいです。他にも果物狩りなどもあります。大分県内に住む方の安近短な旅行、デートスポットとしての魅力も打ち出せば、杵築市へのリピートは増えると思います。(犬山城の城下町は「映える食べ歩きグルメ」で若い方がたくさん来るようになったそうです。)</p> <p>また、観光地は1-2人でくるお客よりも、3-4人で来るお客の方が嬉しいわけですが、3-4人ともなると子供連れが多いでしょう。しかし子供連れで城下町に宿泊しようとはなりにくいです。(子供にとっては面白くないですから飽きるのです。)</p> <p>それゆえ観光を城下町だけに絞るのは勿体無いと感じました。</p>	<p>「06 観光事業の推進」の中で、「2観光トレンドをとらえたイベント企画による観光客の満足度の向上」、「3観光関連団体や周辺地域との連携強化による観光誘客」の取組を設定しております。この中で、ご意見をいただきました城下町以外の観光施設等への誘客促進・情報発信の内容を記載しております。</p> <p>いただきましたご意見のように、ターゲットに合わせた観光コンテンツの開発に努めてまいります。</p>
4	<p>「06 観光事業の推進」について、計画の実行に移る前に、マーケティングがわかる方(「宣伝活動」のような狭義のマーケティングではなく、広義のマーケティングを理解されている方)に観光協会に入っていた上で、観光協会のサイトとSNS運用の再設計が必要です。現状はあまり良い出来とは言えません。</p>	<p>本意見は個別具体的なものであるため、今後のまちづくりにおける貴重な意見としてお受けし、担当課を通じて観光協会へ情報共有いたします。</p>
5	<p>デジタル技術を活用する今後の取り組み事例について」の「④ドローンを活用したバーチャルリアリティ観光」は、なぜ空撮である必要があるのか、空撮によって観光客が増えたり杵築市のファンが増えることにつながるのでしょうか？そもそもVRは視聴環境を保有している人が少なくニッチな市場です。本件は合理的な判断がされていない印象があります。費用対効果を含めて再検証すべきです。</p>	<p>ドローンを活用した観光は、今後も需要が拡大することが十分考えられます。実際に、ドローンの体験を教育旅行のメニューとして提供している実績もございます。しかし、バーチャルリアリティに限定した記載となっておりますので、「ドローンを活用した観光コンテンツの開発」に修正させていただきます。</p>
6	<p>「07 移住定住施策の充実」&gt;実施概要「4.空き家利活用の推進」です。</p> <p>リフォームやリノベが必要だとめんどくさそうで、けんえんする人が多いでしょうから、すぐに住める物件が豊富にあることが移住の推進に必要なだと推察します。(リフォーム補助金ではダメです。)しかし、空き家バンクをみると、そのような物件はかなり少ないです。最低限の修繕と水回りのリフォームだけでも良いので実施してから掲載すると良いのではないのでしょうか？(既存の持ち主にとっては思い出の詰まった家。その改修は、実施するだけのモチベーションもなく、金銭メリットもなさそうですから、既存の持ち主ではなく市が主体となる必要があります。)</p> <p>また、若い人にとって「定住」はハードルが高いです。ハードルを下げたプランの充実も必要だと感じます。</p> <p>例えば、市が仲介し賃貸する。あるいは1年未満のお試し移住をして、気に入ったら購入しそのまま住み続けられるなど。</p>	<p>本意見は個別具体的なものであるため、今後のまちづくりにおける貴重な意見としてお受けし、関係課へ共有を行います。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
7	「20 地域コミュニティの活性化」>「④ドローンによる買い物支援対策」がなぜ地域コミュニティの活性化になるのでしょうか？災害時の対策としてならわかるのですが、道路が寸断されたわけでもないのに買い物にドローンを使うことがコミュニティの活性化につながる合理的な理由がわかりません。経済合理性を考えるなら道路を活用すべきですし、コミュニティバスはそのためにあるのでは？と考えてしまいます。	ドローンをはじめとした、デジタル技術の活用により、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる環境の整備を進めてまいります。 ドローンによる買い物支援対策は、他の自治体でも先行事例があるため有効であると考えております。
8	移住施策について、人口減少の一つの施策としていますが、目標人数など低い気がする。	まちづくりの最上位計画である、第3次杵築市総合計画の目標数値と整合性を図っております。 今後もより一層、移住先として杵築市を選んでいただけるような施策を実施してまいります。
9	各地域(自治協議会)等へ出向いて具体的に諸説明し危機感等を共有する。	市としては、出前講座で各種計画の説明を実施しておりますので、ぜひ、お申し込みください。
10	企業誘致で雇用した場合の移住者受入れを考慮することも視野に入れた各課連携した事業展開を望む。	企業誘致に際しまして、雇用者の移住受入れを考慮し、企業誘致担当や移住定住担当等関係各課連携して事業推進に取り組めます。
11	地域コミュニティの活性化について、住民自治協議会を自立させることや定期的に意見交換等の取組から、住民への計画説明を望みます。	本意見は個別具体的なものであるため、今後のまちづくりにおける貴重な意見としてお受けし、関係課へ共有を行います。 なお、引き続き住民自治協議会の役員会等に出向き、意見交換等を実施してまいります。
12	デジタル技術の活用について、水道スマートメーターによる自動検針の導入を提案します。一度に導入は難しいと思いますが、エリアを限定して実証実験を進めてはどうでしょうか？	業務効率改善のためにデジタル技術の活用は必要と考えておりますので、費用対効果を考慮し、検討してまいります。